

科目名	生理学 6							年度	2026
英語科目名	Physiology 6							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	塚田愛	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】

生体の正常機能を理解しなければ異常である「病気」は理解できないため、生理学を学ぶことで単に生体の機能を解明するだけでなく、解明された知見をもとに生命そのものの存在理由を明らかにする学問を習得することで将来の柔道整復師としての施術の幅を広めることを目的とする。

【科目の概要】

生理学を統括し理解を深めます。

【到達目標】

生理学は健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。生理学が専門的に扱うのは、神経生理学や筋肉生理学のほか呼吸・消化・循環・排出・生殖などの分野である。将来、外傷・障害の治療に当たる柔道整復師を目指す学生にとっては必要不可欠な知識である。この基本的な生理学の知識を習得することを到達目標とする。

【授業の注意点】

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	神経の生理について完全に理解している。	神経の生理について大理解している。	神経の生理について部分的に理解している。	神経の生理についての理解がやや不足している。	神経の生理について理解していない。
到達目標 B	筋の生理について完全に理解している。	筋の生理について大理解している。	筋の生理について部分的に理解している。	筋の生理についての理解がやや不足している。	筋の生理について理解していない。
到達目標 C	感覚の生理について完全に理解している。	感覚の生理について大理解している。	感覚の生理について部分的に理解している。	感覚の生理についての理解がやや不足している。	感覚の生理について理解していない。
到達目標 D	血液と循環の生理について完全に理解している。	血液と循環の生理について大理解している。	血液と循環の生理について部分的に理解している。	血液と循環の生理についての理解がやや不足している。	血液と循環の生理について理解していない。
到達目標 E	呼吸・消化と吸収について完全に理解している。	呼吸・消化と吸収について大理解している。	呼吸・消化と吸収について部分的に理解している。	呼吸・消化と吸収についての理解がやや不足している。	呼吸・消化と吸収について理解していない。

【教科書】

教科書は「生理学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		生理学6			年度	2026
英語表記		Physiology 6			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	生理学の基礎、神経系の基本的機能	生理学の基礎、神経系の基本的機能とは	1 細胞の構造と機能	細胞の構造と機能について理解している。	3	
			2 生体の恒常性	生体の恒常性について理解している。		
			3 神経の構造	神経の構造について理解している。		
2	神経系の機能	神経系の機能とは	1 活動電位	活動電位について理解している。	3	
			2 高次機能	高次機能について理解している。		
			3 自律神経	自律神経について理解している。		
3	筋肉の機能	筋肉の機能とは	1 骨格筋	骨格筋について理解している。	3	
			2 心筋	心筋について理解している。		
			3 平滑筋	平滑筋について理解している。		
4	感覚の生理学	感覚の生理学とは	1 特殊感覚	視覚などについて理解している。	3	
			2 体性感覚	体性感覚について理解している。		
			3 痛覚	痛覚について理解している。		
5	血液の生理学	血液の生理学とは	1 止血	止血について理解している。	3	
			2 血液型	血液型について理解している。		
			3 免疫	免疫について理解している。		
6	循環の生理学	循環の生理学とは	1 心臓	心臓について理解している。	3	
			2 血管	血管の機能について理解している。		
			3 循環調節	循環調節について理解している。		
7	呼吸の生理学	呼吸の生理学とは	1 換気	換気について理解している。	3	
			2 ガス交換	ガス交換について理解している。		
			3 呼吸周期	呼吸周期について理解している。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 神経機能	神経系の機能について理解している。	3	
			2 筋肉の機能	筋肉の機能について理解している。		
			3 脈管系機能	脈管系機能について理解している。		
9	消化と吸収	消化と吸収とは	1 消化管の運動	消化管の運動について理解している。	3	
			2 消化	消化について理解している。		
			3 吸収	栄養素の吸収について理解している。		
10	栄養と代謝	栄養と代謝とは	1 糖質	糖質について理解している。	3	
			2 タンパク質	タンパク質について理解している。		
			3 脂質	脂質について理解している。		
11	体温とその調節	体温調節とは	1 体温	体温について理解している。	3	
			2 熱産生	熱産生について理解している。		
			3 熱放散	熱放散について理解している。		
12	体液の生理学	体液の生理学とは	1 体液の水バランス	体液の水バランスについて理解している。	3	
			2 体液のイオン組成	体液のイオン組成について理解している。		
			3 体液の恒常性	体液の恒常性について理解している。		
13	尿の生成と排泄	尿の生成と排泄とは	1 尿の生成	尿の生成について理解している。	3	
			2 腎臓の血流量	腎臓の血流量について理解している。		
			3 排尿	排尿について理解している。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 消化と吸収	消化と吸収について理解している。	3	
			2 体温調節	体温調節について理解している。		
			3 尿の生成	尿の生成と排泄について理解している。		
15	生理学6のまとめ	後期税理学6全体の振り返り。	1 神経系機能	神経系機能について理解している。	3	
			2 循環系機能	循環系機能について理解している。		
			3 消化器系・呼吸器系機能	消化器系・呼吸器系機能について理解している。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等